

令和 8 年 2 月 24 日

「夜間・休日 精神科合併症支援システム」について

大阪府健康医療部
保健医療室地域保健課

「夜間・休日精神科合併症支援システム」とは

精神科合併症患者を受け入れた二次救急医療機関・救命救急センターに対して、当番精神科医が精神症状への診療相談を受けるとともに、身体科処置後精神科治療が必要な場合に、スムーズな転院をめざしたシステムです。
大阪府、大阪市、堺市共同で実施しています。

この番号は一般には非公開です

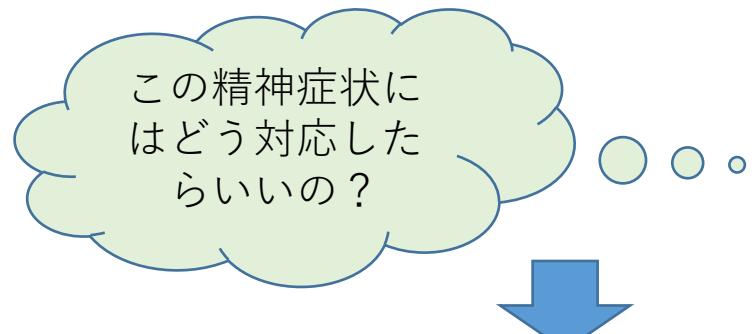
< 二次救急医療機関・救命救急センター 専用電話 >

0570-030-999

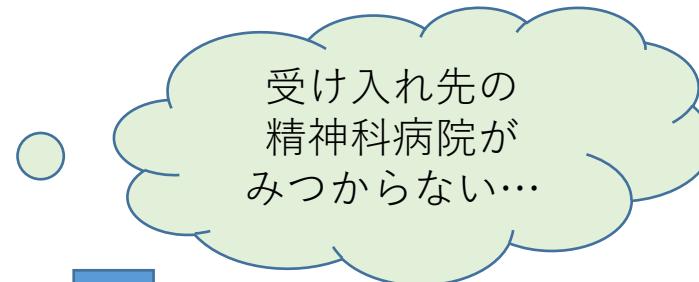
ナビダイヤル 平日夜間（午後5時～翌朝9時）
休 日（土・日・祝・年末年始）

ご利用のながれ

ナビダイヤルから当番の精神科病院のDrと直接話していただきます



コンサルテーション



精神科への転院

電話で精神科医が、精神科領域について提案や助言など、コンサルテーションします。

相談内容に特に制限はありません。

身体的な処置を終えた患者に対して精神科への転院を検討する場合は、ナビダイヤルで転院依頼してください。当番精神科病院が受け入れを判断します。

*必要な様式はwebページからダウンロードできます。



*利用の詳細・様式の検索はこちら

大阪府 合併症支援



【問い合わせ先】

大阪府健康医療部 保健医療室地域保健課
TEL : 06-6944-7524

依頼時に必要な様式

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100040/chikikansen/gappeisyoukyuu/index.html>

誤送信にはくれぐれもご注意ください。←

様式 1 ←

FAX送信票 ←

一般救急病院→合併症支援病院（精神科病院）←

令和 年 月 日 ←

様 ←

（合併症支援病院（精神科病院）名）←

←

夜間・休日 精神科合併症支援システム利用（受診）依頼書 ←

←

本日、当院を受診した患者様について、夜間・休日 精神科合併症支援システムを利用して受診させたいので依頼します。←

また、身体症状の急変等によって病院にて対応ができない場合には、再度の受入れ（戻し）に応じます。←

なお、担当医が不在の場合においても、再度の受入れ（戻し）については本院の責任において対応します。←

←

送付資料 ←

1 本紙（夜間・休日 精神科合併症支援システム利用（受診）依頼書）	様式 1 ←
2 身体治療状況等確認シート	様式 2 ←
3 精神科病院へ転院することへの同意書 （家族または本人の署名のあるもの）←	様式 3 ←
4 診療情報提供書	様式定め無し ←

←

送付元 _____ 一般救急病院名 _____ ←

医師氏名 _____ ←

連絡先電話番号 _____ ←

様式2

身体治療状況等確認シート

該当する項目に□をいれてください。

注：転院の受入れはこれらの項目だけでなく、個別事例ごとに総合的に判断されます。

(1) 救急（身体）疾患について処置済ですか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	<input type="checkbox"/> 意識は清明	
	<input type="checkbox"/> 覚醒しているが、しばらく静脈確保のため点滴が必要	
(2) 意識状態はどうですか	<input type="checkbox"/> 覚醒しているが、しばらく呼吸・循環をコントロールするための点滴が必要	<input type="checkbox"/> 刺激に反応して一時的に覚醒または刺激に対して覚醒しない
(3) 呼吸についてはO ₂ の投与なしで、30分以上SpO ₂ が正常に保たれていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(4) リストカット等の外傷がありますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
「はい」の場合、その傷（縫合後）の程度は	<input type="checkbox"/> 1週間後に抜糸が必要な程度かそれ以下	<input type="checkbox"/> それ以上重傷
(5) 骨折によりギブス固定をしていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(6) 妊婦ですか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
「はい(妊婦)の場合」、妊娠経過・妊娠週数がはっきりしていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

様式3-1

精神科病院へ転院することへの同意書

① 脱離・拘束対応について

精神科病院に入院した際に、自殺のおそれがあるとしている場合や、興奮が著しく患者様ご自身の安全を守れない場合など、それ以外に方法がない場合は、やむを得ず高齢^{※1}・拘束対応^{※2}となる場合があります。◆

拘束対応となった場合、肺血栓閉塞症（エコノミークラス症候群）^{※3}などの合併症がまれに起こることがあります。◆

「脱離・拘束の対応」については、患者様の安全のと、合併症の危険性を十分に考え、最高限の使用にとどめるべく速やかに解除するよう努めますが、上記対応になる可能性があることに同意いただけない場合は、ご家族御常に常に付き添っていただくなどのご協力を求めることもあります。◆

*1：脱離とは、出入り口ドアを施錠された部屋で一人になって、ただ行くだけの状態のことです。脱離症あるいはそれに準じた状態で健をかけることになります。◆

*2：拘束とは、衣類又は出入り口等を使用して、一時的にその方の身体を拘束し、動きを制約する行動の事態のことです。◆

*3：肺血栓閉塞症（エコノミークラス症候群）とは、特に下肢などの深部静脈に血の塊ができ、それが血管から離れて肺動脈につまらる病気です。肺で血栓が詰めると意識障害や呼吸困難や死に至ることがあり、極めて緊急度の高い合併症です。民運病院、肥満体型、妊娠などで発症リスクが高まります。ストッキング着用や、マッサージ、点滴による補液などで予防を行います。◆

② 入院中の禁煙環境について

入院時には、入院中の禁煙、携帯電話、カメラ付きゲーム機、パソコン、危険物となりうるような私物の持ち込み制限等があります。また、金銭管理等に費用が生じる場合があります。◆

加えて、精神科病院であるため、身体科治療が必要な場合には身体科治療が可能な病院へ再転院していただく場合があります。◆

なお、以上のことについては、「精神保健及び精神疾患看護法」に関する法律^{※4}や各病院の規定によって元されるもので、その他のルールにも従っていただく場合がありますので、詳しくは各病院の説明を受け、指示に従ってください。◆

また、病状によっては入院とならず外来受診のみとなることもあります。◆

これは、夜間・休日精神科合併症支援システムを利用し、精神科病院への転院について記載したもので、提供された個人情報の取り扱いにつきましては本システムの更なる質の向上のために用いる場合、個人を識別あるいは特定できない状態で利用させていただくことがあります。◆

年　月　日◆

上記の内容に同意します。

続柄

氏名

（署名）◆

連絡がとれる電話番号　――――――

夜間・休日 精神科合併症支援システムを利用する際の様式 (2010改訂) ◆

受け入れ依頼にあたっての注意事項（身体科病院用）

- 血液検査等のデータがあれば、診療情報提供書・様式1～3と共にFAXにてお送りください。

受け入れの依頼にあたっては、下記のことを判断の目安にしてください。

- 酸素投与なしで少なくとも30分以上SPO₂が正常に保たれているか。
- リストカット後等の切創は縫合済みか。
- 意識障害はほぼ回復しているか。
→ 意識レベル1桁を目安とする。
- けいれん発作が治まらない場合、るい痩が著しい場合は、身体科病院での対応をお願いします。
- 精神疾患の既往歴でシステムの利用を判断せず、精神症状による判断をお願いします。

大阪府のwebページにも掲載しておりますので、依頼時にご確認ください

【受け入れの基準】

Na (ナトリウム)	:	120mEq/L 以上
CK (クレアチンキナーゼ)	:	2000U/L 未満
CRP (C反応性蛋白)	:	10mg/L 以下
Cr (クレアチニン)	:	2mg/dl 以下

※受け入れの基準につきましては、目安としてご活用ください。
基準から外れる項目がありましても相談いただくことは可能です。

「戻し」について

精神科病院で転院受入れ後、身体症状の急変等によって対応ができない場合には、再度の受入れ「戻し」をお願いします。

担当医が不在の場合においても、「戻し」について依頼があった場合は、ご対応をよろしくお願ひします。

「戻し」を受け入れる期間の目安は、精神科病院転院後、概ね2、3日となっていますが、目安の期間を経過していても、「戻し」の依頼がありましたら、相談の上、可能な範囲で受け入れをお願いします。

システム利用にあたってのお願い

○精神科への入院は「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」によって、入院形態が定められています。

- ・興奮状態がはげしい
- ・希死念慮が強くある
- ・入院を要する精神症状があるのに、本人の同意がとれない

などがある場合は、家族の同意で入院する方法があります。

○そのため、ご家族が精神科受診について同意されているかを、精神科病院から確認させていただくことがあります。事前に、ご本人・ご家族にご説明いただきますようよろしくお願いします。

よろしくお願いします



システム利用実績

○システム利用件数

(単位：件)

		R2	R3	R4	R5	R6
電話コンサルテーション		109	72	74	90	92
精神科病院受診	外来	17	21	8	23	25
	入院	78	88	82	94	93
その他※ 本システムで別ケース対応中		0	7	4	4	4
合 計		204	188	168	211	214

○二次救急医療機関等の利用病院数（二次医療圏別）

※ 利用医療機関数：非救急病院を除く

※ 圏域病院数：年度末時点の救急告示病院数から精神科病院を除いた数

	R2			R3			R4			R5			R6		
	利用病院数	圏域病院数	利用割合												
豊能	8	21	38%	7	21	33%	6	21	29%	9	22	41%	5	22	23%
三島	8	19	42%	7	19	37%	4	18	22%	4	17	24%	4	18	22%
北河内	11	36	31%	10	38	26%	12	39	31%	14	40	35%	11	40	28%
中河内	8	17	47%	9	17	53%	4	17	24%	3	17	18%	7	18	39%
南河内	7	19	37%	8	20	40%	6	20	30%	4	19	21%	4	19	21%
堺市	4	21	19%	6	21	29%	5	21	24%	6	21	29%	8	21	38%
泉州	12	24	50%	7	23	30%	6	23	26%	5	22	23%	6	23	26%
大阪市	19	93	20%	17	93	18%	18	93	19%	25	91	27%	16	91	18%
総計	77	250	31%	71	252	28%	61	252	24%	70	249	28%	61	252	24%

システム利用で多い精神症状

- ・抑うつ状態
- ・自殺企図、自殺念慮
- ・不穏や興奮状態